

# 四郷小だより

発行人 深川 昭久

## 冬休みを目前にして

年もおしせまり何かと忙しい頃となりました。皆様におかれましてはご健勝のこととお喜び申し上げます。学期途中ですが、冬休みを目前にして学校も区切りとして、保護者の皆様に学校評価や個別懇談会をお願いしました。ご協力・ご出席ありがとうございました。

### 《修学旅行 12月1日(水)、2日(木)》

新型コロナウイルス感染症拡大のため、延期になっていた6年の修学旅行が、12月1日(水)、2日(木)に実施できました。行先は、東紀州・和歌山方面でした。

#### 〇1日目(12月1日)

昨夜(11月30日夜)から早朝にかけて、三重県南部を前線が通過するため、天候の心配がありました。しかし、集合時刻には青空になっていてひと安心、欠席者なしで予定通りに出発しました。

最初の見学先は、紀和鉱山資料館でした。係の方の流暢な説明を受け、鉱山や石のこと等を学習しました。



そして、青い空とエメラルドグリーンの熊野灘を見ながら、和歌山県那智勝浦町のドライブイン「ねぼけ堂」に向かいました。そこで、昼食・買い物を楽しみました。

(左：昼食後の買い物)



(上：鉱山資料館にて)

午後は、まず、那智の滝と熊野那智大社の見学でした。

那智の滝は、早朝の雨のため、冬には珍しいほど水量の多い迫力のある滝の景色を見ることができました。また、熊野那智大社では往復何百段もある石段をのぼり、おりしました。



(上：熊野那智大社にて 後方に那智の滝)

太地町のくじら博物館では、見学・買い物をしました。また、四郷小のために、特別に予定外の迫力あるくじらショーを見せていただきました。

(左：くじらショー)

くじら博物館のあとは、宿泊先の「ホテル浦島」に向かいました。

ホテルでは、品数の多い食事や露天風呂を満喫し、各部屋では友だちと楽しい時間を過ごしました。 (右：夕食)



## 〇2日目 (12月2日)

まずは、花窟神社に行きました。

(下・右：熊野古道)

その後、世界遺産の熊野古道(松本峠)を語り部の方とともに、1時間半ほど歩きました。随分と歩きにくい道でしたが児童は元気でした。そして、木々の間に時々見える景色のすばらしさに楽しんでいました。



熊野古道の後は、鬼ヶ城センターで昼食・買い物をして、鬼ヶ城を見学しました。本当に鬼が住んでいたような大きな岩穴を作った自然の力強さを感じました。



最後の見学地の熊野古道センターでは、檜の箸づくり体験をしました。おみやげの一つにもなりました。

天候に恵まれ、6年生は大きなけがをしったり大きく体調を崩したりすることはありませんでした。思い出に残るいい修学旅行になったと思います。

(左：鬼ヶ城)

## 《よろしくお願ひします》

3年担任の藤原先生が休まれていますので、代わりに野村和也先生に来ていただきました。また、現在のALTはヘイデン先生お一人ですが、しばらくの間、シーナローズ先生にも来ていただくことになり2人体制となりました。どうぞ、よろしくお願ひします。

## ◎土日・学校閉校期間中の緊急連絡先

緊急を要する事柄(交通事故、命に関わること、虐待など)がある場合、伊勢市教育委員会事務局学校教育課に連絡してください。

※コロナウイルス感染症に罹患した、PCR検査を受けた、濃厚接触者と指定されたなどの場合も必ず連絡をしてください。

伊勢市教育委員会事務局 学校教育課 TEL 0596-22-7881

(緊急連絡があった場合、学校教育課から学校長、教頭に連絡が入ります。)

※小俣総合支所開庁時間(8:30~17:15)は学校教育課職員が対応します。勤務時間終了後や土日は閉庁となり、守衛室に電話はつながり、そこから学校教育課職員に連絡が行きます。

